

令和元年

第2回防府市議会定例会

一般質問

6月13日（5人）

1 今津 誠一・2 河村 孝・3 上田 和夫・4 曾我 好則
5 山田 耕治

6月14日（4人）

6 石田 卓成・7 宇多村 史朗・8 高砂 朋子・9 山根 祐二

6月17日（4人）

10 藤村 こずえ・11 田中 健次・12 牛見 航・13 清水 浩司

6月18日（4人）

14 和田 敏明・15 清水 力志・16 山本 久江・17 三原 昭治

No.	1	今津 誠一
質 問 事 項		要 旨
1	山頭火ふるさと館の活用	<p>りっぱな館が建設されたが、観光施設としての活用は充分とは言えない。活用の具体策を問う。</p>
2	市道・河川等の改修に係る申請状況及び当該予算の公表	<p>単独市費による市道・河川等の改修工事は、当該地域の自治会等から申請され、原則申請の早いもの、緊急性の高いものから優先的に工事が着工されている。</p> <p>しかし、申請件数も多く、現状の予算では消化し切れず、申請者から不満の声が漏れ、担当職員も対応に苦慮している。</p> <p>そこで、申請の件数、申請の日時、申請の内容、そして当年度の予算額を公表し、透明化すれば、現況が一目瞭然で申請者からの理解も得られ易く、職員の対応も相当和らぐものと思う。</p> <p>このような制度を提案する。</p>
3	廃棄物の再生・再利用の促進による最終処分場の永久使用	<p>現在、建設当時と比べ、資源の再生・再利用の技術が格段と進歩し、処分場に投入する廃棄物の量を激減化することも可能となった。</p> <p>現在の最終処分場の永久使用を目指し、将来の財政負担をなくすため、その具体策を検討し、実施すべき。</p>

No.	2	河村 孝
質問事項		要 旨
1	防災意識社会の構築について	<p>国は、災害の教訓を踏まえ、行政・住民・企業の全ての主体が災害リスクに関する知識と心構えを共有し、様々な災害に備える「防災意識社会」へ転換を進めている。そのために、自主防災組織の充実、住民が主体となって作る地区防災計画や一人一人が災害時に何をするのかという「マイ・タイムライン」の普及、要配慮者の避難計画の策定の推進などの具体的な「地域防災力」の向上が必要である。本市としての防災意識社会の構築への具体的な取組を伺う。</p> <p>(1) 防災意識社会の構築をどのように進めるのか。</p> <p>(2) 地域防災力向上のために、防災士と地域住民との一体とした取組などをどのように進めるのか。</p> <p>(3) 「国土強靱化地域計画」の策定が必要ではないか。</p> <p>(4) 想定される自然災害によるリスクとして、防災面から、山陽道、国道2号など、他市との連絡道路の整備をどのように進めるのか。</p> <p>(5) 大島大橋の事故を考慮し、向島の錦橋の老朽化対策などを含む、向島の総合的な防災対策も必要ではないか。</p>
2	学校におけるICT環境の整備について	<p>新学習指導要領では、情報活用能力が「学習の基盤となる資質・能力」の一つと位置付けられ、小学校においては、来年度よりプログラミング教育が必修化もされるため、積極的にICTを活用することが望まれる。本市は「教育のまち日本一」として、ICT環境の整備を積極的に進めるべきではないか。</p> <p>(1) ICT環境整備の進捗状況と課題</p> <p>(2) 今後のICT環境の整備方針</p>
3	消費税対策の施策の周知について	<p>10月の消費税10%への引き上げと同時に、生活の安心確保のために、軽減税率の実施、ポイント還元をはじめ、プレミアム付商品券、所得の少ない高齢者への介護保険料の軽減などの取組が開始する。また、少子化対策、貧困の連鎖を断ち切ることを目指すため、10月から幼児教育・保育の無償化と来年4月から所得が低い世帯を対象に高等教育の無償化もスタートする。このような消費税に対する市の施策の周知が非常に重要であると思われる。どのような取組をされるのか伺う。</p>

No.	3	上田 和夫
質 問 事 項		要 旨
1	中心市街地の活性化の取組みについて	市長の選挙公約であり、市民の関心や期待の高いこの取組みについて、ご所見を伺う。
2	公立夜間中学の設置について	公立夜間中学の設置について、ご所見を伺う。

No.	4	曾我 好則	
質 問 事 項			要 旨
1	中心市街地の活性化を加速化させる市道整備について		<p>平成6年5月の鉄道高架の完了により、駅周辺部の一体的なまちづくりが可能となり、土地区画整理事業や一連の再開発事業を行ってきたが、平成23年を最後に手付かずの状況である。</p> <p>駅北のまちづくりが一向に進まない要因として、駅の南側は大きい通りまで道路が南北に走っている区間はまちづくりが進んでいるが、駅の北側は旧国道2号まで抜ける道路がないことが考えられる。</p> <p>このため、今ある市道に、ルルサスから北側にアルク防府店西側を経由して旧国道2号までの区間と、中国労働金庫からアパホテルまでの区間で市道を延伸して整備することが、中心市街地の活性化を加速化させると考えるが、市長のご所見を伺う。</p>
2	土曜授業について		<p>平成25年度から市内小中学校で行われてきた土曜授業であるが、県内他市の状況、これまでの成果、今後の方針について、ご所見を伺う。</p>

No.	5	山田 耕治
質問事項		要 旨
1 不法投棄について	<p>(1) 市民からの問い合わせや通報などの件数は？</p> <p>(2) 不法投棄は、山や川、道路や空き地、私・公有地、海岸等、どのような所が多いのか？</p> <p>(3) 不法投棄の未然防止、抑制を図るための啓発看板の設置枚数は？また、どのような所での設置が多いか？道路・河川・道路脇等々、把握されているのか？</p> <p>(4) 抑制を図る看板等、市販のものを購入する場合の補助制度はあるのか？</p> <p>(5) 多くの市では、不法投棄多発地域に不法投棄監視カメラを設置するなど、更なる不法投棄の抑制に努めているが、防府市としての今後の考え方や取組みは？</p>	
2 投票率の向上について	<p>(1) 今後、投票率を向上させる考え方と具体的な施策について伺う。</p> <p>(2) 若年層の投票率の低さ等々も考慮した場合、任意の証明書ではあるが、「投票済証明書」等を発行し、その証明書を利用した地域への割引特典制度等、も考慮してみてはどうか？</p>	

No.	6	石田 卓成	
質 問 事 項			要 旨
1	空きビン回収場所の設置について		<p>市が収集する資源ごみのうち、空きビンだけは民間で回収している業者が無く、月に1回の資源ごみの日か、クリーンセンターに持ち込むしか処分する方法がありません。市役所の駐車場や、各地域の公民館に空きビンの回収場所を設置して頂けないでしょうか。</p>
2	水害対策について		<p>(1) 先日の佐波川水防演習は、どのような内容で行われましたか。私の住む自治会では演習のタイムラインに併せて避難訓練を行いました。このような形で今回の水防演習と同時に地域などで訓練が行われた事例を把握している範囲で教えてください。</p> <p>(2) 今年度、水害対策で行う河川の浚渫予定場所と、水害を防止するために行う河川改修工事の予定場所を教えてください。</p> <p>(3) 昨年7月の豪雨の際に、佐波川の佐野堰の砂ばきゲートを開けて頂いたおかげで、すぐ上流にある玉祖の須川や、右田の剣川と佐波川との接合部分に堆積していた土砂がはけ、剣川の水位も例年の豪雨時より下がっていたと後に地域住民から聞きました。今後、豪雨の際には、市役所から防府土地改良区や佐野堰土地改良区にゲートの開放をお願いする体制を作って貰えませんかでしょうか。</p> <p>(4) 国が3か年で計画している国土強靱化の予算ですが、とても使い勝手が良く、これまでは各地域から要望があっても、予算の都合で、なかなか実施ができなかった河川に堆積している土砂の除去が、多くの河川で実施できる見込みとなり、とても嬉しく思っております。この国土強靱化の予算は、来年度で終わってしまい、水害対策の河川改修工事などに予算を使うことは難しいので、期間延長等の要望を、国にあげて欲しいと願っていますが、いかがでしょうか。</p>
3	定住促進対策について		<p>(1) 過去の一般質問で、要望した全国版空き家・空き地バンクに防府市も登録して下さったが、この中に、空き店舗付き住宅も登録できる仕組みがあるので、商店街の空き店舗対策として、登録を促してみたいはいかがでしょうか。</p> <p>(2) この度、農業委員会が全国版空き家・空き地バンクで農地と空き家をセットで紹介する場面に限り、農地取得の下限面積を1㎡以上と引き下げましたが、今後は、住民から直接相談が寄せられた場合にも、全国版空き家・空き地バンクに掲載するようにできないでしょうか。</p>

No.	7	宇多村 史朗		
質 問 事 項			要 旨	
1	森林経営管理制度について		(1) 森林経営管理制度の対象となる防府市の森林の状況について（木の種類・林齢・面積）	(2) 森林経営管理制度の今後の進め方について
2	市長への提言について		(1) 市長への提言箱及びわたしの提言箱への昨年度の処理件数について	(2) わたしの提言箱に入った提言はどのような手順で処理されているか。
			(3) わたしの提言箱の提言者の個人情報や内容の機密性は保たれているか。	(4) 市長あてに直接郵送で提案できる、『市長への手紙』制度について

No.	8	高砂 朋子		
質 問 事 項			要 旨	
1	子ども達の命を守る安全対策について		(1)	<p>「登下校防犯プラン」に基づく取組について</p> <p>ア 危険箇所の総点検の実施状況について</p> <p>イ 防犯対策に関する「地域の連携の場」の構築について</p> <p>ウ 不審者情報等の共有及び迅速な対応について</p> <p>エ 多様な世代や事業者が日常活動の機会に気軽に実施できる「ながら見守り」の推進について</p> <p>オ 防犯教育の実施状況について</p> <p>(2) 通学路等の安全対策について</p> <p>ア カラー舗装・「ゾーン30」の推進、不明瞭な道路標示の整備、側溝への転落防止や歩道確保の為にガードパイプやガードレール、ラバーポール等の設置について</p> <p>イ 保育園等のお散歩コースへの配慮について</p>
2	防府市文化財郷土資料館の整備・運営について		(1)	<p>館内における収蔵状況と新たな収蔵スペース設置の必要性について</p> <p>(2) 展示コーナーの充実について</p> <p>(3) 専門職の配置について</p>
3	トイレ環境の整備について			<p>文化福祉会館併設の屋外トイレの更新について</p>

No.	9	山根 祐二				
質 問 事 項			要 旨			
1	所有者不明土地について		<ul style="list-style-type: none"> (1) 土地の所有者不明化によって問題が生じたことはあるか。あれば具体的内容はどうか。 (2) 固定資産税納税義務者の死亡後、相続登記が行われていない事案は何件あるか。それは納税義務者全体に占める人数比率はどうなっているのか。 (3) 納税義務者が死亡・行方不明の場合はどうしているか。 (4) 表題部所有者不明土地調査についてどのように取り組むのか。 			
2	マイナンバーカードについて			<ul style="list-style-type: none"> (1) 本市のマイナンバーカードの取得状況はいかがか。また、カード取得推進のため、どのように取り組まれているか。 (2) 直近の各種証明書コンビニ交付サービスの利用状況はいかがか。 (3) マイナンバーカードを保険証として利用すると、どのような効果が期待できるか。 		

No.	10	藤村 こずえ	
質 問 事 項			要 旨
1 学校環境について	<p>本市においては「防府市学校施設長寿命化計画」を策定し、今後、施設の安全性を確保し機能向上を図っていくため、校舎等の使用年数を延ばし財政負担の平準化を進めるとある。策定後、2年が経過したところであるが、次の3点について伺う。</p> <p>(1) 「防府市学校施設長寿命化計画」の基本的な考え方について伺う。</p> <p>(2) 学校施設の使用年数を80年に延ばす計画になっているが、今後80年を経過しないと校舎の建替えは行わないのか伺う。</p> <p>(3) 華城小学校については、築47年が経過し、校舎の劣化度もかなり進んでいる。さらに今後も児童数が増加する予測であるが、校舎の改築計画について伺う。</p>		
2 交通安全対策について	<p>東京・池袋で87歳の男性が運転する乗用車が暴走し、10人が死傷した事故や、大津市で園児を巻き添えにした事故など、痛ましい事故が後を絶たない。交通安全はハード対策と啓発や教育等のソフト施策の両輪で進められている。</p> <p>華城地区においては、メインの通学路である市道三田尻西浦線の交通量が依然として多いが、その安全対策の一つとして、通過交通を排除するため、都市計画道路松崎植松線の残りの区間を完成し、交通量の転換を図ることが急務と考えるが、今後の整備計画について伺う。</p>		

No.	1 1	田中 健次			
質 問 事 項			要 旨		
1	ひきこもりやニートへの支援について		<p>(1) どのように相談・支援をしているのか。</p> <p>(2) 子ども・若者育成支援推進法に基づく「子ども・若者計画」を策定すべきではないか。</p> <p>(3) 子ども・若者育成支援推進法に基づく「子ども・若者支援地域協議会」を設置すべきではないか。</p>		
2	市民団体等への補助金について			<p>(1) 市民団体等に交付していた補助金で、今年度の予算編成で廃止したものは、どのようなものがあるのか。</p> <p>(2) 市民団体等に交付していた補助金で廃止したものについて、当該団体との話し合いはされたのか。</p> <p>(3) 今年度、新たに市民団体等に交付する補助金は、どのようなものがあるのか。</p> <p>(4) 今後、新たな制度により市民団体等に補助金を交付する場合、透明性確保の観点から、対象となる団体を公募してはいかがか。</p>	
3	学校給食の民間委託について				<p>当初と比べて、委託経費が増加しているが、どう考えているのか。</p>

No.	1 2	牛見 航
質 問 事 項		要 旨
1	情報発信について	<ul style="list-style-type: none"> (1) 観光分野における情報発信構想について (2) 市広報について
2	観光振興 クルーズ船誘致とインバウンド施策について	<ul style="list-style-type: none"> (1) 飛鳥Ⅱなどのクルーズ船の誘致について今後の計画、また港湾整備の考え方について (2) インバウンドマーケティングについて (3) インバウンド消費を促す免税店について

No.	13	清水 浩司
質問事項		要 旨
<p>1 ふるさと納税について</p> <p>2 登下校時の小学生の交通事故削減対策について</p>	<p>(1) ふるさと納税の推移と今迄どの様な努力をしているか伺いたい。</p> <p>(2) ふるさと納税が新制度に移行するが、防府市はどの様に対応するか伺いたい。</p> <p>(3) 首都圏に多くの防府出身者が居住しているが、首都圏の山口県人会や市内高校の同窓会等でどの様なPRをしているか伺いたい。</p> <p>(4) 防府市は吹奏楽のまちとして有名だが、このコンサートのCDを作製して返礼品にしたら喜ばれると思うが、いかがか。</p> <p>ビッグデータの活用は、交通事故削減対策に有効と思われるが、いかがか。</p>	

No.	1 4	和田 敏明		
質 問 事 項			要 旨	
1	小・中学校区の見直しについて		少子化に伴う学校区のあり方について	
2	道路の維持管理について		(1) 街路樹について ア 街路樹の落ち葉の清掃について イ 街路樹による歩道の段差について ウ 低木の高さについて (2) 区画線の復元について	
3	防府市三世代同居定住促進事業補助金について		補助対象者の変更について（市民から移住者へ）	
4	広報媒体について		媒体の選択制について	

No.	15	清水 力志		
質問事項			要 旨	
1	住民基本台帳の閲覧について		<p>(1) 住民基本台帳法の一部改正により、平成18年11月1日から閲覧制度が変更となり、閲覧できる場合が限定されたが、その「閲覧できる場合」とはどのようなものか。</p> <p>(2) 平成30年度の閲覧状況は。</p> <p>(3) 自衛隊山口地方協力本部は自衛官募集に使うため、18歳となる住民の「住所・氏名・生年月日・性別」が書かれた名簿の提出を自治体に求めているが、本市の対応はどのようにしているか。</p>	
2	学校業務支援員の配置について		<p>3月議会の一般質問で小・中学校の教員の働き方の現状が明らかになった。昨年、教員の負担軽減のために部活動指導員を配置したが、教員室に常駐して教員の簡単な業務を代わりに行なう「学校業務支援員」の配置はできないか。</p>	

No.	16	山本 久江		
質問事項			要 旨	
1	公契約条例の制定について		<p>全国的にも条例制定の動きが広がる中、これまでの議会答弁は「国や県、あるいは他の自治体の動向を注視しながら、調査研究していきたい」とのことだったが、制定にむけての執行部の見解はどうか。</p>	
2	国民健康保険制度について		<p>(1) 子どもの数に応じてかかる均等割額について、県内13市で高い状況であり、子育て世帯の負担軽減を図るため、保険料減免ができないか。</p> <p>(2) 国に対し、抜本的な公費投入増による保険料引き下げを求めてほしいが、どうか。</p>	
3	防府市情報公開条例について		<p>第5条（請求権者等）について、県と同様、「何人も」とすることはできないか。</p>	

No.	17	三原 昭治		
質問事項			要 旨	
1	消防団支援事業と活動経費について		<p>(1) 防府市消防団に対する消防団応援事業の現状について</p> <p>(2) 活動経費の対応について</p> <p>住宅供給による郊外化が進み、著しく子どもが増え続けている右田地域の住民から、子どもたちが安心、安全に遊べ、運動などのできる広場や公園等、防災機能を備えた施設の設置を求める声が強くあがっている。平成28年6月の一般質問では、検討するとの答弁であったが、その後、どのように検討し、今後、どのように対応を考えているのか。</p>	
2	子どもが激増している右田地域への防災機能を備えた遊びや運動のできる広場、公園等の設置について			

